



来年度から指定校 県立和歌山高で授業

新聞で



教育現場で新聞を活用する「NIE」の実践指定校に来年度から2年間決まっている県立和歌山高校（和歌山市）で14日、NIEアドバイザーの和歌山大学教育学部付属小学校（同）教諭、矢出大介氏（38）が授業をした。写真。

授業は、2年生を対象に

「ふるさとわかやま学習」

と題し、和歌山の魅力などを紹介するリーフレットを作成する内容。矢出氏が作成に向けた取材の段取りや文章の書き方を説明し、生徒たちは各自案を考えた。

今後取材やアンケートなどを重ね、来年1月に発表会を開く予定。2年の箕浦翔希さん（17）は「家族で行ったかつらぎ町のホタルが印象的だったので、取り上げたい」と話してい

た。県NIE推進協議会の口井浩事務局長は「人と話したりプレゼンしたりする力を磨いてほしい」と期待していた。